

平成 28 年度 済美中学校区小中一貫教育推進デザイン

—— 9 年間の育ちの姿を見据え、学校評価システムを活用した指導方法の工夫改善 ——

	9年間の育ちの姿	取組みの柱	小学校（1年後の目指す児童の姿）				中学校（1年後の目指す生徒の姿）					
			前期＜基礎・基本の習得期＞				中期＜学びの活用・充実期＞		後期＜進路実現期＞			
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
基礎学力の向上	自分の考えをもち、伝え合う力を身に付けることができる。 主体的な学びができる。	ことば	・主語・述語、順序をはっきりさせて		・理由(根拠)を添えて		・相手や目的に応じ、話の構成(ナンバリング等)を工夫して			・目的や場面に応じ、論理的な構成(事実と意見の関係・筋道)や展開(結論先行等)を考えて		
		ノート	・課題(めあて)をていねいに最後まで		・図や絵などを使って、分かりやすく		・気づきなど自分の考えを入れて			・キーワードを入れ、効果的に		
		読書	月5冊以上 ・本に親しみ、楽しんで		月300ページ以上 ・いろいろな読み物に興味を持つ		月500ページ以上 ・目的に応じて幅広く		月700ページ以上 ・目的に応じて幅広く		月800ページ以上 ・目的に応じて幅広く	
		家庭学習	家庭学習時間 30分以上 「決められた学習」		家庭学習時間 45分以上 「自ら進んで」		家庭学習時間 60分以上 「自分で考え」		家庭学習時間 70分以上 「計画的に」		家庭学習時間 80分以上 「軽重をつけて」 家庭学習時間 90分以上 「主体的に」	
心の育成	かかわり合いながら、感謝と思いやりの気持ちを持って行動することができる。 ルールを守り、マナーを身に付けることができる。	めぐりつ	・「誰にでも」「明るく元気よく」				・「相手を意識して」「自分から進んで」			・「状況に応じて(立ち止まってなど)」		
		そとで	無言で自分の掃除をやりきる									
			掃除道具の使い方を覚える		掃除の手順を身に付ける		自分で進んで段取りよくできる			自分の分担以上の掃除ができる		